

## 市立奈良病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床試験を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	全周性食道表在癌の治療方針と妥当性
当院の研究責任者	所 属：消化器肝臓病センター・消化器内科 責任者：北村陽子
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	<b>背景</b> 全周性病変で、術前壁深達度診断が粘膜および粘膜固有層までで5 cm以下は内視鏡治療、5 cmを超えるものは外科手術あるいは化学放射線療法（CRT）、術前壁深達度診断が、粘膜筋板または粘膜下浸潤の場合は、外科手術あるいはCRT が推奨されている。しかし、壁深達度診断の正率は高くなく治療方針に苦慮することが多い。 <b>目的</b> 当院における全周性食道表在癌の治療の妥当性を検討すること。
調査データの該当期間	2014年4月から2024年4月
本研究の対象及び方法（使用する試料等）	当院で内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）を行った全周性食道病変の方の、内視鏡画像・病理組織画像や臨床データを後方視的に検討する。
試料・情報の他の機関への提供	なし
個人情報の取り扱い	匿名化し個人を同定できないように行う。
本研究の資金源（利益相反）	本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。
お問い合わせ先	T E L：0742-24-1251 担当者：消化器肝臓病センター・消化器内科 北村陽子
備 考	